若いがゆえに変化への対応および一

めにあります。

化の波をうけ、 歴史が短いほど|

に生きるものは、同じように変|

このような時代錯誤の考えをもつ

遠く過ぎ去っています。しかし、

impact を与えるものと思います。

今まで述べてきた一、二、三、

**大きく影響されます。しかし一方、** 

は、

病院は社会のため、患者のた

そして医療は、今|め、できるだけ早く計画を具体化云のため、患者のた|の念願である病院拡張を衆知を集

|人がまだ少なくありません。医療|の基本方針を基盤として、私たち

自身の大方の意識です。しかし、

ます。まだ若いというのが私たち うやく十年を迎えようとしており です。私たちの医学部、病院はよ

未来を志向しつつ、広い視野を|

とを正しく認識し、人間社会の

も大きく変質し、展開されるべき 又科学の進歩にともに医学、医療

号

福岡市西区七隈 福岡大学医学部内 印刷 福岡印刷株式会社 岡市博多区東那珂一丁目10-15

医学部長

西

袁

業生は計三五四名となった。

の諸君をあわせて、福大医学部卒 十四名が巣立って行った。これら

保留者の卒業式

?行われ、左記の

桂 雅史

健康管理科

一内科

高橋 高黒橋川

耳鼻咽喉科

研児

皮膚科

熊大麻酔科

昭和五十六年九

月十六日、卒業

人|整備は、焦眉の急です。当然の

とながら、病院との緊密な連携が

必要になってきます。



設十周年を迎えます。しかし、 私どもは、この四月、 、医学部開 実

感としてはアッという間に過ぎ す。国や地方自治体の庇護やいら 学に対するかかわり方と思いま

さったという印象しかありませ

開学問もなくのころ、ある高

有の学風はできないとお聞きしま 名な医学者から十年位たたぬと個

した。その大先生に久しぶりにお

度が必要と思います。

題もさることながら、大学人の大 定まらずというのが偽らざるとこ|の和」という言葉がピッタリでし| う」と申されました。人気いまだ|おります。「天の時、地の利、 ろです。 私学の存在の基盤は経済的な問 りません。 た。私たちはそれに甘んじてはな

なるのでよい学風ができたでしょ | 大変な期待をうけて今日に至って| センター、そして教育関連病院の| 発展もあると信じます。 会いしましたが、「福大も十年に」部が出来ましたとき、世間からの」どを有機的に統合した医学情報|風を継承することでこそ、 点検して発展をはかるという態 います。カリキュラムの改善、図 風は医学部にもあてはまるもので 性と、変化をおそれずつねに自己 のですから、組織人としての主体|教育を生涯教育ととらえる世界の| ざる監督を受けずにやろうという 福大に医学|書館、医学博物館、視聴覚教育な 動向に対応したものとすべきと思 展してきている福岡大学全体の学 からはじまります。そして、医学 ばなりません。それは入試の改善 | 岡大学です。そして、その運営形 方を検討し必要な改革をはからね 先ず、私たちは医学教育のあり| す。組織人として私たちはこの学 います。特定のオーナーなしに発 態が全く異なるのも注目を引い 東の東海大学、そして西のわが福 わが国に二つあるといわれます。 戦後、驚異的に発展した私学が

順応もより容易であると考えられ| や医学のみで動かすことは全く不| し、その実現を目指したいと考 ます。今こそ、私たち自身が勇気| と決断をもって、将来への展望と| 病 院 さまざまな自然科学、社会科学、 可能であり、多くの医療従事者、 長 朝

いるこのような現実の中で、今ど 関心の高まり。私たちが直面して | たり、次の四つを基本方針とし、 目標達成に努力する覚悟でありま 年間病院長を勤めさせて頂くにあ 前期にひきつづき今後さらに二 とであり、変化のない所に進歩は 進歩するということは変化するこ| 能力を問われる時代であります。 は医療のリーダーとしての資質、 ありえません。変革を怖れず、 とに行われるべきであり、 医師| 科や講座の壁、職場や職種の壁を

師過剰時代、また健康、医療への

まくきびしい環境と近い将来の医

不況、

行革、そして医療をとり

変革の方向を決めるべき時であり

人文科学との緊密な協力関係のも|沿って努力することであり、診療

は、私たち一人一人が基本方針! ております。そのための必須条件

打ち破り、既得権意識を打ち捨て、

二、病院組織の改革、改善 一、病院財政の健全化 卒後教育、職員教育の拡 の時代を考え、

療を担ってくれる人達を育てるた

与するため、また次代の医学、医 して未来の医学、医療の進歩に寄 のような医療を行うべきか、そ

もって解決されねばならない問題|認識と一つ一つの方策の積み上げ| がこの危機を乗り切る最良の道で | 学であります。私たち自身ができ| |て極めて困難だと思われます。 であると考えられた時代はすでに むべくもありません。一人一人の る限りの努力をすべきであり、財 あると信じております。 政健全化なくして将来の発展は望 許されない時代であり、まして私 かし大学病院だからという甘えは 医療経済の現状で、大学病院とし 医療が医学そして医師の独占物 革、卒後教育、職員教育の拡充、 病院財政の健全化は、きびし ずれも決して満足できるものでは 強化は卒前教育にも極めて有効な い医療を目指した病院組織の変 るのが何よりも大事です。より良 には良い医療の実践の場で教育す ありません。良い医療人を育てる 私学福岡大学人としての教育、い 教育、医療人としての人間教育、 も重要かつ緊急な問題でありま 者の卒後教育、職員教育はもっと 残るために、医師および医療従事 し、私たちの医学部、病院が生き| る計画には積極的に参画すべきで primary care 教育、医療技術 は課せられた難局を乗り越えるに しょう。 かかわっています。

はなく、

かつてのように医師および医学だ

しょう。しかも、この問いかけは

けの問題として解決できるもので

きたことでしょうが、今ほど深刻

四、病院拡張計画の推進

けはいつの時代でもされつづけて め何をなすべきか。こんな問いか

に投げかけられたことは初めてで

正

寮環境と医師過剰時代を目前に| ることを認識し、その可能性のあ 療組織の改革、改善にとり組んで| す。いくつかの計画や話が現在あ さらにきびしくなるであろう医| ずき上げていく主体は私たちであ 病院管理組織、診| 関係の確立が緊急な課題でありま 病院の獲得、そしてそのような施 とでありましょう。また教育関連 ります。立派な関連病院としてき 設との将来を指向した新しい相互 将来に向って柔軟な姿勢をもつこ めました。 り多くの都市を廻ることにつと 国する三ヶ月ばかりを出来る限 月初旬に出発し、八月中旬に帰 を勉強する機会を得ました。六 欧米での医学の教育、研究事情 、医学の教育、殊に医師養成 福岡大学在外研究員として、

> な教育制度にありますから教育 について、先に述べましたよう

二、医学の基礎科目のとり扱い

た。いろんな科学の分野を医学

(Medical Psychology) やつ 当然、心理学も医学心理学

の視点から再編成して報告しよ

うとされていました。

視点」から制定されていました。

館の現状、ヨーロッパの場合と

三、医学情報、ことに医学図書

科目のとり扱いも一医師養成の

の勉強に参加する道筋にありま 科を問わず広い分野から、医学

Chemistry) でありました。

協力と御尽力を心から期待致しま ちの手で、一歩一歩築いて行きま ります。すばらしい未来を、私な 鐘でもあります。禍を転じて福と しょう。医学部、病院の皆様の御 十分な力をもつていると信じてお なすのは私たち一人一人の努力に 少なからぬ傷をかうむりました。 によって、私たちは強烈な衝撃と しかし同時にこれは私たちへの警 最後に病院検査部タリウム事件 福岡大学病院 米では、殆んどの国において、 であって、研究中心制度にあた 大)は、大学の標榜科目の一つ 原則は欧米の場合と大きく異っ |成されつつありますが、教育の 健康福祉にかかわる仕事をしよ 医学教育はその国の保健行政の うな教育がなされています。欧 標の下に科学の至極を求めるよ ります。医学生の教育も、文学 ていました。日本の医学部 した。それで、多くの医師が養 も「各県一医大」の目標に沿っ について、ここ十数年、日本で て医大の増設が推められてきま 一環の中でなされていました。 理学部の学生と同じ教育目

> 好 萬

佐

への勉学をふまえて、文科や理 つとする人々が、それまでの各 されていました。ですから、医 生物学も化学も医学指向に要約 育や医師養成という点からは、 れば、医学は生物学の一分野で であり、 ありましょう。しかし、医学教 例えば、科学ということから見 (Medical Biology) 医化学 (Medical

分散の中心となっていまして、 りましょう。アメリカでは、 ました。それはキャンパス型と 用や急増する医学情報の入手、 書館は、図書や雑誌の収集や利 インスチチウト型の差異でもあ アメリカでは大きな違いがあり

が散在していることが多いの 学部、病院もその都市の医学会 で、図書館はそれほど発達して れぞれの教育(インスチチウト) いません。 大体において一 医師会)の 一方、ヨーロッパの大学は、 メンバーですか かし、 大学医 つの都市中にそ

の医師は世界に通用しない現状

は進んでいるとはいっても日本

た。そうでないと、日本の医学 に立つ必要があると思いまし か」という活々とした目的思考 学の教育は何のためにするの

が理解できるという笑えない事

福大医学部卒業生 354 名に

34名新しく医師の仲間へ



卒業証書を受け取る卒業生

回)の医師国家試験合格者は、

また昭和五十

年秋 (第七十二

吉兼 正文 松本伸一郎

春山 西園 徳安 高雄 蒲池 春田 萩原

勝郎 久徳

鹿大泌尿器科

健康管理科 久大整形外科

渕之上祥徳

産婦人科

祥夫

原

半 白水 渡辺 新垣

富内松今村田田岡村山

義博 敏文

寿彦 雄平

> 第一外科 鹿大第二内科 泌尿器科

眼科 第一内科

り発表された。 昭和五十六年十

本学医学部卒業生

月七日厚生省よ

(病院は科名のみ)。 岡田 久保山昌宏 松岡 新垣 整形外科 小児科 第一内科

修病院は左記の

こおりである(福

中第七位の成績で 七%を上回り、

今回新たに医院

即となった人と研 (あった。

**琉球大第一内科** 

杉山 居

山崎 卅 高城 宮竹 草野 柳瀬 原田 元基 副島真一郎 花栗 大塩 善幸 松本真理子 恵三 聖彦 哲郎 勝郎 謙治 卓雄 裕 小児科 第一外科 熊大小児科 第二外科 長大産婦人科 呉共済病院 精神神経科 耳鼻咽喉科 第一内科 耳鼻咽喉科

あった。これは全国平均四十二・ 合格、合格率は五十二・三%で は六十五名が受験し、三十四名が

私立医大二十八校

片田江民雄 兵動 和郎 敬子 POCHOCHOCHOCHOCHOCHOCH 信也 久大第一病理 第一内科 九大第一内科 整形外科 精神神経科

文献検索も大変盛んでした。 りましたコンピューターによる た。ビデオのブースは殆んどが ビデオ、スライド、標本、ポス た。また、私共の福岡大学でも 日本製であったのは印象的でし ターなど広く活用されていまし 本年度から利用出来るようにな 行 では旧い慣習が残っていて大学 つ必要があると思いますが「医 我国の事情にあった考え方に立 じのところが多くありました。 ト)に分散設置されていて、こ り、個々の教室(インスチチウ 図書衝は極めて貧弱なものであ 制度に移ろうとしているドイツ リカや日本のようなキャンパス れていました。それでも、アメ ある教育や研究制度がありまし による違いがあり、一長一短の 大学当局も苦笑していました。 れまでの日本の大学の場合と同 た。当然、取捨選択に当っても このように、多くの点が国情 医学会図書館として充実さ

解剖学第二教授)

実がある。

だきました。 は昇格された助教授、講師の方に自己紹介をしていた 昭和五十六年四月以降十月までに本学へ赴任、また 以下原文のまま掲載します。

研究への片想い

薬理学助教授 桂木 猛

ス

=

ユ

医学部応用生理学教室の助手とな 学)を終了しました。同年四月同 父が病没し、その後は経済的理由| の後に再び福岡の町に住み、 まれまして福岡大学医学部薬理学| 四十八年三月東北大学大学院(薬 裡に焼きついています。中学の頃 児期の福岡大空襲が未だ鮮烈に脳 昭和十五年十月一日生れで、幼 | 変り様にはただ啞然としていま 研究への片想いに駆られ昭和 |学的に追い続け得る幸運に恵まれ その|るアデノシン等のプリン物質によ|エサの大量配布で逆になった様で| |シップを得て南イリノイ大学医学| 観戦する程度です。その他釣り (ア | 地に生まれ、高校卒業と同時に東 した。ここでは血管平滑筋におけ 部Su教授の下へ二年間留学しま よりアメリカ心臓協会のフェロー もない時期ながら温かい御配慮に ております。その後、移動して間 おける神経伝達物質の取込み遊離 | 応できる柔軟さも必要であり、そ 貫して平滑筋と自律神経接合部に す。研究の方は大学院時代より一 気込みで乗込みましたが、結果は にうつつを抜かしていましたが、 時代(筑紫丘―熊本大学)サッカー いと願っております。趣味は学生

のための努力もまた続けて行きた |ただ今後は新しい研究の流れに対 のままにならずと言った処です。 常に心を砕いていますが、中々意 報の波に流されず自己のオリジナ ルを確立するにはいかにすべきか 行うため日夜RI測定に明け暮 すが、テーマの追究に最も適切な も極めて進歩の激しい学問分野で この仕事は今後さらに発展さ 非常に貴重な経験を得ました 皮膚科学助: 程度のものを楽しんでおります。



|メリカの魚を少々減らしてやる意 | 京に出て以来二十年近くを日本医 | ませんが、日常増加の一途を辿り 昨今は他のスポーツ全般同様時折|う西瓜・落花生・鰻のおいしい土 港の近くの千葉県八日市場市とい 年日本医科大学卒業後最後のイン|を卒業生にマスターしていただき 科大学で過しました。昭和四十二 昭和十六年四月二日生。成田空 |皆様に大変お世話になり感謝の気 |行の実験室を主とするものであり つつある皮膚感染症の診断・治療

膚結核さらに接触皮膚炎などに興 細菌性疾患などの感染症を主に研 福岡大学に赴任し二年余を経ま おります。 |然と診るなということを心掛けて| はプロ級の腕と自負しておりま をするな、ありふれた疾患でも漫 断、治療、研究いずれにも手抜き| 本来遊びがすきで、とくに麻雀

紀孝

地道な臨床医の道を

る交感神経機能調節機序の研究を|す)とザル碁に少々の毛の生えた|ターンを経て日本医科大学大学院|地域医療に役立てていただくこと|てて……々という滅詩の作者でも

へ進み、昭和四十八年に「弱毒菌

|を当面の目標としております。

カッコイイことはするな、診

んだ有馬新八らの墓のある鹿児島 ある。その月性や池田屋の変で死

歌った。

|たが……。翌朝、

初歩的な所謂禅問答をもらい、

|生も七高寮歌を心行くまで怒鳴っ||浅見||羊先生にも教えを請う機会

その高僧に最も | を得た事は幸いであった。発生と

|からめて心臓の内部構造のひとつ

和尚も奥さんも歌い、小 | て、順天堂大学では心臓発生学の

|館長さんも坊主頭に鉢巻をして|で万屋的に仕事をしてきた。加え

による実験白癬知見」で学位を得

の写真撮影、病理標本の作成、 症患者の多いことは当科の特色の 抦理学教室、中央検査室諸部門の な疾患がかなりあり、膨大な資料 つで、他では経験されないよう |りますが、ゴルフは先日初デ ビューし、 す。その他野球、ボーリングもや

惨憺たる成績におわり

寺、銀閣寺さんを連れて居候寺に

都五山のひとつ臨済宗相国寺の系

い無芸大食でしかないと痛感し 調子っぱずれの大声しか取柄のな |た事を記憶している。所詮、俺は|

最近は食欲も人並 | の小生であるが、その為か、禅寺

十七才にして卒業十年という凡人

九四四年に直方に生まれ、三

酒の相手をしていた。この寺は京

列であるが、ある日その相国寺の

みになったよう た。もっとも、

鹿大で卒業一

年過ごした後、順 |な自己嫌悪の発作がある。この自

で教えられた「開き直り」とは逆

|己嫌悪発作が消失するか、家族に

クーデターを起こされるまでは、

大堂大学循環器内科に入局した。

器の先生が、学会

のいる寺で、毎晩のように和尚の

と〃こうるさい〃子供二人と老犬

|既的に自信なげに、目を白黒させ| た時は感動で胴震いをした事も

あった。

「はー?」と前日の酒の席とは対 | ひとつを明解に説明していただい

ある。痛快な和尚と優しい奥さん

|と直結したものが中心で、現在流 持ちで一杯です。研究内容は臨床 内科学第二講師 病理の接点を 心臓における臨床と

福田 圭介

ります。何しろ、出身校でない事 を結成しようとの声もあがってお| 知らない所へ入りこんだものです が私共にとっては、やはり、ハン ティーとして感じられます。 全く 一の時は宣しく御指導お願い致しま 一お世話になるやもしれません。そ 又、いつ、どこで、諸先生方に | した宮竹聖彦先生。熊大では内科 病棟と外科病棟が離れている為な

の僧に月性がある。〃男子志を立 | た銀閣寺さんは長唄を、 ともに錦江湾に投身した長洲出身 | 夕食兼酒の席が始まり、

幕末に京を追われ、西郷隆盛と | やって来た。諸々の行事が終わり

興に乗っ 金閣寺、

に心筋症、

刺激伝導系から冠動

床データと病理

標本を見比べ、主|

えている。

理の接点を捜し

て、具体的には臨 | は大学に居候させてもらおうと考 における臨床と病 |えをいただき、禅寺ではなく今度 年。その間、大袈 |室の藤野・池田・土居諸先輩の教 ていた岡田了三先 |方、とりわけ我が研究棟四○七号 がると最も厭な人 | 荒川 教 授を はじめ 教 室の諸先生

裟に言えば心臓

生に師事して九. の一人と話され で質問の手が上げ ある高名な循環

|脈・弁膜症・手尖

術材料等に至るま

ります。

婦さんたちに鑑賞された。

この原稿が載

名に恥じない様に頑張ってる様で から……。しかし、皆んな福大の 又、私の事に話を戻して、福大 態 眼本大学 高浜由梨子

れ、非常に感激しました。毎年一は、国試対策コースの道へ一年間 生活を思い出し、雀荘や中洲が僕 をよんでいる様な気がします。今 |顔を見ると、あの楽しかった学生 関係のニュースや、福大出身者の します。 福大病院以外で研修中の卒業生

| 昭和五十七年二月現在、熊本大|はゆかないのが不便です。

|の | 人として、熊大からの報告を | でも知りあいの先生がいるので簡 単ですが、熊大ではそういう訳に があっても、 の事で他科にちょっと尋ねたい事 ましく思ったものです。眼科以外 ばならず、 終わって七日目から出勤しなけれ に入局しました。医師国学試験が 狼で何の予備知識もなく熊大眼科 かなか会えません。 最後に私。二年前の四月に一匹 福大に残った友人を羨 福大病院ならどこに 咲くのを期待し 頃でしょうか。 こんにちは、 鹿児島大学

外科学第二

(昭

ています。

浜

炪

ておられる卒業生の皆様からお便りを頂き ました。以下、 本学卒業後、 原文のまま掲載します 学外で診療や研究に従事し

大阪 根 大阪 科学

んびりしたもので、朝九時からセ の生活は臨床にくらべますと、の もまず体力からでしょうか。日々 頭を休めるという具合です。何事 極的に参加します。さらに囲碁で **| 以と各季節毎に大会があり、皆積**|

ミナーのある日 (火、木、金) 以

危俱はすっかり消えてしまいまし わっていて、最初にいだいていた|

|ブドウ膜の専門家ですので、

| Behçet 病、原田病、Sarcoidosis | とになっていますので、そのうち| 結婚も大学五年の時しており、近|では、三人の子持ち。長女、佳美

回大阪で定例会を開こうというこ 進み、その難関を突破しました。

りで自由な奮囲気で研究にたずさ

〇才~三〇才台の若い先生方ばか |究室は、癌研免疫部門といっしょ

ず何かの研究グループに属してい 手伝いをしています。眼科では必

身の福大医学部在学中の後輩諸君

今年 (五十六年) 正月に関西出

が、大阪市内で新年会を催してく

がたとうとしています。卒業後私

福大を卒業以来もう三年の月日

なければならず、私はブドウ膜グ

ループに入っています。助教授が

思議。後になりましたが、この研

てみるとこれが普通になるから不 最初はびっくりしましたが、なれ

おき、毎週木曜日は大学で実験の

ありません。

阪大眼科には研修生として籍を | く、ちょっと付き合いがよろしく

事以外は育児に専念しているらし 行ったりしていますが、季君は仕 |林君とは帰りによく食事をしに

第二内科・は

た白衣、衣服?で実験しています。 マートにはいかず、皆独特の汚れ

腕をみがいています。

何でもさせてもらえるので大いに

例が多く、斜視から網膜剝離まで

しまいました。歴史ある研究室と にまいりましてもう二年間たつて

私が九大の細菌学教室の研究室

大原れ

が必要。動物をつかって実験をす

おわれます。ここでも大いに体力 その動物(主にマウス)の世話で |

|例を術者としてこなしています。

主に白内障ですが、府立病院は症 | でに良きパパになっています。古

|で助かります。手術も毎週二、三|パスで十分程のところにあり、な|展を祈ってペンを置きます。

んとも心強い限りです。彼らはす

一九八一年八月二十三日

た。又この教室は伝統的にスポー

ソが盛んらしく野球、テニス、卓

はじょうずになって基礎の成果と です。せめてテニスなりとも少し かせてもらつているといつた状態 とにかくどうにか後からついてゆ たって研究が進められています。 に感染免疫から免疫学全般にわ

したいのですが。

(昭和五十三年卒)

にやら研修医の二年間が終わって 過ぎようとしています。いつの問 しまい、頭の中はまだ入局当時と|名、先輩が一名、それと以前福大 大阪にもどってきてもう三年が

時のことを考えるとうその様です す。研修医時代の時間におわれた 外は自分のペースでやつていけま

号

第

4

が、一方自分で自分のペースをつ 回あります。その準備もなかなか くつてゆくのも違った意味で、苦 ぎていく感じです。 あまり変化がなく時間ばかりが過|生化学におられた重本先生が阪大| 枓から天王寺の大阪府立病院勤務| 五十六年四月一日付で、阪大眼|それぞれに活躍しています。奇遇|みです。来年(五十七年)の一月|ております。しかし、内科の必要

め、アニマルセンター以外に自分 vivo の実験を行っているた 時まで勤務時間が定まっているの を命ぜられました。大学とちがっ て一般病院では朝九時から夕方五

(3)

|等その豊富な症例には、統計処理 |福大医学部同窓会大阪支部が発足 |い方がよいと思い、久留米大学第 |三才、次女久美二才、長男、保隆 |学医学部附属病院には福大医学部 |私立医大を出て国立大学病院に務

|例に困らないというのは有難いこ となのでしょうか。 のたびに泣かされていますが、症 大阪には福大時代の同級生が四 をはじめ福大眼科の諸先生方にお |催されますが、学会場で大島教授||きました。その後、父が精神神経 はこの場をかりて改めて御礼申し するやもしれません。後輩諸君に 眼科は毎年いくつかの学会が開 | 家には(柳川)帰れない日々が続 | ではないでしょうか。なかなか自| たが、二日しか休めず、近くても いったら……。一年間在局しまし

の勤務する府立病院の病理に手伝 大学院)は四月から毎週四日間私 いに来ています。更に府立病院は |会長となられて眼科手術学会が開 |内科へも足を運んでいます。 思っております。 |かれます。是非とも参加したいと 性をつくづく感じ、現在もICU、 福大出身者も、小児科・外科・

最後に福大医学部の益々の御発|者も増えてきており、

福大会

にも同級の古林範男君

第三内科にいらっしゃいます。皆 |会いできるのが私のひとつの楽し |

|科・内科を開業しており、精神科 へ転局し約半年をむかえようとし 内科・精神科・病理学等への入局 | たちの心の仕えとなると思いま| 諸先生へ。僕たち外部へ出た者の ます。 由時間がないのですが、ひまをみ |展させていって下さい。それが僕|を疑った事があるとか無いとか… ためにも、福大病院をもっと、発|で体重がさらに五キロも減り、 つけて福岡へも行きたいと思って 最後に、福大へ在局されている た中村先生なんか入局当初一ヶ月 明先生と中村靖先生。朝は早いし 次に昨年入局の麻酔科の橋 癌

|二内科へ入局。そのきびしさと||七ヶ月 (打ち止め)。家に帰って もなついてくれません。多分、僕 の様になられた方も増えてきたの |大耳鼻科に入局されました。| 事はありません。岡村教授が人格 | するから先生たちは前に出て下さ | が、うやうやしく二人をもらいうが、家庭の事情で昨年十二月に熊 | が、熊大眼科に関してはその様な | とです。三階の美人コンテストを | た妻帯者会々たちがれ会々会長 食事も不規則で、もともと細かっ | だけ認めてもらえる所だと思いま の卒業生が五人勤務しています。 まず、 福大産婦人科で研修中でした 野球部OBの木庭 | 浩先 | れたりして長くは医局におれなく | さんたちが、手ぐすね引いて待っ | 者で、医局の雰囲気も良く、教育 および研究にも熱心で、頑張った なる等とひどく脅かされました

妊娠、育児等の問題があり、医局 に迷惑をかける事も多く、熊大で|た。そして次から次へ何ともいわ さて、女医には医業の他に結婚、

それから体研小児科に昨年入局 | は女医入局拒否の科がいくつかあ

|れぬ美人たちが

出来あがり、看護

つらをかぶせられ

多くの桜の花が咲 |の研修医と認められて、こわい大 和五十五年卒) るのは国家試験の 俊仁 されています。シビアーなものは、 手術は、手術に六時間程つきあっ 治医がすることになっています。 腹部血管造影等の検査はすべて主 学に返された。心臓カテーテル、 たあと、術後管理は主治医にまか 科を週六例組まれています。心臓 定期手術は心臓を週三例、一般外 四ヶ月後、やっと一人前(?)

大学第二外科に入局いたしまし 治医にわたされます。こんな例で の浜畑です。卒業後、私は鹿児島 ター、人工腎臓等をつけられて主 た。そこは、心臓と肝・胆・膵の | は、三~四週間ICUに泊まりこ 花の第三回卒業生|心ペースメーカー、レスピレー 科目としていま みとなります。

鹿大第二外科では、独身会〃か

外科を主な診療

|ていました。その時の忘年会のこ|ています。そして、頭のうすくなっ るのかと思って舞台に上がった。 |ババ、ミニババと呼ばれる看護婦| レットペーパーに書いた破門状を |その後、国立鹿児島病院で麻酔研 | 式の時には、花婿の日頃の悪行を いと言われたので、審査員でもす でライターがついておりました。 入局して三ヶ月間が見習い期間 | らたち会々というのがあり、小生 いました。 そこ チュウババ、コ 立更生は無理と判断して、トイ けるという設定になっています。 わたす痛快きわまりない役をやっ 暴露して、とても独身の身では自 が会長をつとめております。結婚

には、オオババ、 修を四ヶ月間行

|すると、よってたかって看護婦さ|部病院に、出張に出ております。 がされ、女性用の 現在は研修を終えて日南市立中

顔にべたべたと (昭和五十五年卒)

んたちに服をぬ

係者で受賞された方々はつぎのと

的に著しく価値ある業績をおさめ た者を表彰するもので、医学部関

八福岡大学研究奨励賞規程によ

著書・論文・発明などで学術

学部慰霊祭を執行

華につづいて喚鐘の中を導師と法

てしめやかに行われた。献燈、献

れた。

昭和五十六年十月三十一日午後二

ちなみに研究奨励賞とは学校法

圧症の成因としてのキニン・テン

ンン酵素系に関する研究」 である。

励賞は内科学第二荒川規矩男教授

昭和五十六年度福岡大学研究奨

に授与された。受賞論文は「高血

おりである。

第九回 (昭49)

第8回

霊がまつられた。

はとどこおりなく終了した。

して残されていた胃癌と腸上皮化

み申し上げます。

れた遺族に哀悼の意を捧げなが

れら御霊の冥福を祈り、また残さ|

西園医学部長は祭詞の中で、こ

患の原因究明に幾多の貴重な資料 ら、これらの尊い献体によって疾

(病理学第二教授

竹林茂夫)

また医学教育の面で

第十回(昭50

生理学

富田

忠雄教授

精神医学 回 (昭51)

西園

昌久教授

# 志村 秀彦教授

# 西日本文化賞受賞さる



# Ш

荒

第十二回 (昭52) 天児

第十四回(昭4) 第十三回(昭53) 解剖学 菊池 三好萬佐行教授 昌弘教授

第十五回(昭55)

竹林

茂夫教授

に益々貢献されている。

とめられるなど日本外科学の進歩

本学医学部 志村秀彦教授に|治療に関して、新しい独創的な手 著な業績を発表されて居られ、特 に、昭和五十四年度の日本外科学 術法を開発されるなど、多くの顕 私の知る今井環先生 医学部長

西園昌久

られ、身のまわりの事をご自分で を完成され、回復後の出版を楽し

みに手術に向われた。後腹膜に生

後は、研究室では若い人に席を譲|とになられたが、入院前日に草稿|

退任されて、特任教授になられた|旬腹部腫瘤に気付かれ入院するこ|

療に関する研究により、昭和五十六

療・予後などの講演・指導を行わ の映画を製作、提供され、又、昭 大学の客員教授として招聘され、 和五十五年には、米国ハーバード 間としてのご自身の尊厳を大切に 「人間としての誇り」である。そ き方となったのであろう。 れが、正姿勢ともいえるような生| 先生と私とは公的場面以外でお 今井環先生はご一生を通じて-

本学外科学第 | 講座を担当され現 | 及び、極めて良好な手術成績を挙 | 施錠されたり、かぜで休み登録を | 学療法学会、日本網内系学会など| 本消化器外科学会、日本小児外科|先生が私どもにかけられた人間成 外科学会、日本臨床外科学会、日 学会、日本消化器病学会、日本化 術例数は既に一、五〇〇例以上に 過去約二十年間に、胆石症の手 現在、日本 | 忘れたまま、試験を受けようとし 大学紛争のころ、私どもは助教授 長への期待だったろう。前任地で 変やかましい方だった。これも、 た学生の退室を命ぜられたり、大 理論的であった。遅刻を戒しめて に先生の講義をうけたが、大変、

関しては定評がある

れている。

多くの全国的学会の評議員であ|講師、助手で教官会というものを |組織していた。先生は教授会の代 |表団の責任者であった。私は教官 りにくい方だった。このような物 健康が許せば引きうけようとされ 福大で推挙された医学部長を辞退 の道理を大切にされる生き方は、 かった。交渉相手としては大変や 妥協ということを一切なさらな やらねばならなかったが、先生は 会の責任者だった。再々、接渉を ていたのだと思う。 けて健康をチェックされたが、ご されたときにもあらわれていた。 十四時間モニターの心電区をつ

困難に困惑していたとき、「只今 物評などに先生の人情味を垣間み とや、県対癌協会の理事会などで 福大医学部に必要なことは、誇り る思いがした。私どもがいろんな **遠城寺先生を思慕しておられた?** つろがれたとき、 遠城寺宗徳先生のご葬儀のと **弔辞の中で臼杵の先輩としる** 洩らされる人

追

康郎助教授

て永眠、

未だ四・

時三十二分、第

昭和五十七年

昭和57年1月16日

18:32逝去

統解剖五十七体、計一八〇体の御|き、最後に朝長病院長の謝辞で式|とを教えられたことは、父よりか 慰霊祭には病理解剖 | 二三体、系| 看護専門学校学生達の焼香が続| 父から誇りを持って生きていくこ 中の入場で式は始まった。今年の|医学部、病院関係者、医学部及び 時より積善社「福岡斎場」におい|ことのできたことを霊前に報告さ 第八回福岡大学医学部慰霊祭は | は学生諸君に解剖学的基礎知識と | を持つことです。」 といわれたこ |共に生命の尊厳さについても学ぶ 百名を越え、きわめて盛会であり、 なお今回の慰霊祭の参会者は六 そのあと読経の中を遺族、来賓、 |て述べられた文がある。先生は、 |があるが、その中にご父君につい |とがある。実に効果的な結晶化の のご発言のとき、先生ご自身が悩 核のようなご発言だった。先生の けがえのないものを受けついだと 〕随筆集に「研究全滴」というの |ベく、各地にお出かけになり自か 生の問題について自説を世に問う に苦しみながらも、畢生の仕事と 授になられてからは、宿痾の膿胸 今井環特任教授は、癌で斃れられ

た。亨年七十三歳である。特任教|

昭和五十六年十月十三日早朝 病理学第一 菊池昌弘 最後の宿題

弔

医学部長

西園昌久

|御遺族も広く日本各地より参集さ| んでおられたのではないかと拝察 | ら切出された三千例に及ぶ胃の標 だけに、シャイな方だった。 先生はご自身と対話のできる方

一りかかっておられた。その八月中

七隈の地に医学部と病院

安らかにお休みください。

れ、八月にはその成果の纒めに

悼



故 舩津 昭和56年12月16日

昭和56年10月13日

とを指摘されてね、といつもの笑 | ついこの間のことであった。人生 | い、正に獅子奮迅の活躍で、この

|ませんね。] と冗談に言ったのは | り、且つ医局長としての重責を荷

|後の著作を完成

され、近く出版さ

しみにしていたのにこのようなこ

の無常を思う。

先生は、病床で最 | 努力の報いられる日の来るのを楽

れる予定である。

偉大な人生、偉 とになって、誠に痛恨の極みとい

コルフ中に友人にお腹の大きいこ|

会いした記憶はない。大学生時代 ときなど、この人たちは自分の父 | 元気な姿に接することは叶わな |があつまっていた。亡くなられた| 急激な経過を辿り、再び先生のお 井環先生と対話して生きていきた う。これからは、わがこころの今|にも拘らず今日なお未決定であ をなくしたような悲しみ方だっ|かった。先生を侵した腫瘍は極め かりではなく、多くの若い人たち されるようになられたと聞いてい る。先生の周りには、講座の方ば よい先生を私どもは持ったと思 | で、その組織発生は、種々の検索

記

環教授 5:15逝去

-郎教授 故 今井 0:37逝去 顔でお話下さいました。ご自分の

めて下さいました。あとで周りの 親切でいきとどいているなどとほ| **病気のことより、ここの看護婦は|** 

のない温情は、

までも残るである

ろう。

故三戸康郎助教授

医学では死の受容が問題にされて 測されたとお聞きしました。最近、 を告げにお訪ねにまわられたとの 万からお聞きしたところによりま| いますが、先生は、温和な優しさ の生命を閉じるであろう日まで予 9と、先生は死を予知されて、ご へ院前にお子様やお孫さんと別れ ことでした。主治医には、ご自分 真の勇者でいらっしゃ

外科学第二

追悼の辞

|弔意を捧げますとともに、奥様並 |学部教職員、学生とともに謹んで||奪ったことを悔いております。 故舩津維一郎先生に福岡大学医 をいただき、お礼を申さねばなり た。かけがえのない貴重な時間を をおかけしたことを申しわけなく ておられました。美しい光景でし お訪ねしましたときは、ご子息と 思います。お亡くなりになる前日、 配し慰めて下さいました。ご心配| りましたときも、奥様ともども心 一人きりでなごやかに語らいあっ 先生、まだまだ数多くのご指導 病院でいまいましい事件がおこ

官、事務官、

びにご遺族の皆様に心からおくや もに医学部の準備にご貢献下さい 福岡大学の理事にもご就任にな 先生は福岡大学に医学部が開設 こころをあわせて努力してまいる しのべる時がやってまいりまし ことをお誓いして弔辞といたしま た。私どもの将来には、いくたの ませんが、会者定離、お別れを申

御助力を頂き、

パーの人達に至る

舩津先生 小児科学 の追悼記

岡渡辺通教会で挙行され、結婚式

先生のお力をおかりせねばなりま て、私ども若い者たちをよく指導 輩である久留米大学の例をひい 年月の浅い私どもの医学部はまだ ご退任になられましたが、開学後、 して下さいました。昭和五十二 先生は、大学院担当の特任教授| を歴任され、 大小児科助教授、 経て昭和八年九 九大附属医専教授、久留米大教授|にも取急ぎスピーカーを設置して 一月四日大牟田 舩津維一郎先生 福大医学部創設当初 県立医歯専教授、 ^卒業、その後九 に生まれ、五高を 土は、明治四十年 小田禎一

|室の合同葬という形がとられた。

|もあり、三戸家と福大第二外科教

たいという御遺族の強い御気持ち を挙げたのと同じ教会で葬式もし

|列者は堂に満ち溢れ、予備の部屋

学の内外を問わずつめかけた参

に拡がり、主治医の努力も空しく、 じた腫瘍は、思いがけずも広範囲

て悪性度の高い多形細胞性肉腫

せんでした。

|臨時の会場とした程である。

白ズックでご颯爽と歩いておられ きも薄着をされ、白衣と白ズボン、 のお遺影を拝見しながら目に浮か として今日までお勤め下さいまし びます。この夏ごろから、先生の ました。あのお姿が今ここで先生| られておられました。冬の寒いと お姿を見ないなと思っていました おたづねいたしましたが、先生は ら、九月に福大病院にご入院され| 先生は絶えずほほえみをたたえ 病気になることはとても考えられ |しんでおられたと思う。「先生が|て事情を知る者の涙を唆った。 |研究そのものを大切にし、また楽|の患者さんの顔もいくつか見られ |あった。結論を出すことよりも、| 手術により一命を助かったかつて 先生は頑強その なったのは昭和五十年からであ | 科学会特別講演や外国の国際学会 ておられた。先生は本当の学者で | 療成績も向上、葬式の日には彼の らの手で実験し いたことになる。 の基礎づくりに力をつくされた。 り、六年間以上もご指導をいただ | での発表など高い評価を浴びてお から、小児科学教室および医学部 私が先生のもとで働くように|数々の業績を挙げ、日本消化器外 ものであった。自 | ループの指導者の一人であった。 顕微鏡をのぞい | 彼の努力により患者数も増し、治 今年の夏まで、|り、九州地区における食道外科グ |大学に着任以来食道外科を中心に 学生や後輩の教育にも熱心であ 三戸君は昭和四十九年四月福岡

を携えて、先生の御霊前に報告し

私共弟子達に最後の宿題とし

大な死だったと思う。先生の私心|う外はない。 私どもの心にいつ 一祈るのみである。 今は唯安らかに眠られんことを

病理学第一 畏 三戸康郎君を偲んで 菊池昌弘

犬塚貞光 |眺め、彼との三十年に及ばんとす |らぬ一月十六日夕、短かい闘病生 活の後忽然と他界した。亨年四十 た三戸康郎君が正月気分の抜けき 去った安らかに眠る彼の面差しを 健康には自信があると語ってい

|学部長、朝長病院長、その他多数| された核心にせまる発言は、聞く |始めた。血漿交換には極めて大量|して福岡大学と、医療に、学問に ないが、以前三戸君の手術により|他者への思いやりといたわりの気 | それに医学部の学生は言うまでも| あった。しかし深い信仰に根ざす |の方々の力強い御協力により、教||者の多くに共感をあたえたが、時 康郎君は劇症肝炎のため卒然とし 元気になった患者さん達やプロ 看護部、看護学生、 るまで惜しみなき||者を魅きよせ、彼を中心に新らし から意識が混濁し | 勇士の姿が交叉する。大学紛争そ の九日朝には小康|戦の先頭に立ち勇敢に戦い続ける が心要で、西園医|教育に対する信念と実力に裏付け 十八歳の若さで|八歳人生の盛りである。苦しみの |百人を越す供血|い実を結び生れ始めた所であっ 翌八日より血漿 | る交友を思う時、その姿に、常に 月七日夜十時頃 一外科助教授三戸 月十六日午後六 |にはその真意を誤解されることも |持ちは、彼に接する友をそして若

交換を実施、次

急患として入院

これに先立つ一

を得たが、午後

の新鮮凍結血漿

岡市渡辺通の日 者が得られた。 に鬼籍の人となる |度と再び旧に復することなく遂||三戸君の育くんだ若者達が心に刻 にも拘らず一 葬儀は一月十 九日正午より、福|開花させ始めていることは一つの られたのである。 旦混濁した意識は | 無念さを思うと言葉はない。ただ 本キリスト教団福|なぐさめである。 んだ彼の教えをそして志を次々と た。豊饒の時を目前に殪れた彼の

# 海外•国際学会研究発表

(発表者名:①題目②学会名③開催地④年月日)

田川隆輔 (解剖学第二), 高岸直人 (整形外科学) ① Thoracic Outlet Syndrome ② S.I.C.O.T. XV World Congress ③ブラジル ④56.9.4

松岡雄治(生化学第一)① Chemical structure and immunological reactive of normal fecal antigen-1: A CEA-related antigen of small molecular size in normal adult feces. 2 9th International Society for Oncodevelopmental Biology and Medicine. ③カナダ **4**56, 9, 30~56, 10, 5

池原征夫(生化学第二)① The relationship between multiple forms and sialic acid content in rat  $\alpha$  1protease inhibitor ② "Glycoconjugates" Proceedings of the 6th International symposium on Glycoconjugates ③東京 ④56.9.20~56.9.25

桂木 猛(薬理学) ① Presynaptic autoinhibition of purine release from vascular adrenergic nerves 2 65th Federation Meeting of American Societies for Experimental Biology ③アメリカ ④56.4.16

桂木 猛 (薬理学) ① Augumentation by theophylline and clonidine of <sup>3</sup>H-purine release from vascular segment. 2 8th International congress of pharmacology ③東京 ④56.7.19~56.7.24

櫛来和司・古川達雄(薬理学)① Antagonism by γaminobutyric acid against stimulant action of angiotensin II in cardiac sympathetic ganglia of spinal dogs. ② 8th International congress of pharmacology ③東京 ④56.7.19~56.7.24

山田勝士・古川達雄(薬理学)① The yawning elicited by  $\alpha$ -melonocyte-stimulating hormone involves serotonergic-dopaminergiccholinergic neuron link in vats. ② 8th International congress of pharmacology ③東 京 ④56.7.19~56.7.24

寺崎邦生(寄生虫学)① American leishmaniasis brought to Japan. ②第12回熱帯医学セミナー ③韓国 ④ 56.6.20

永田武明(法医学): ①体組織中 LPG の検出とその意義 ②国際法医学会 ③ノルウェー ④56.6.22

八尾恒良(内科学第一): ① Radiological diagnosis of nonspecific ulcers of small intestine ②国際放射線学 会 ③ベルギー ④56.6.22

川浪祥子(内科学第一): ① Intrathymic acetylcholine receptor protein and myasthenia gravis 2 12th World congress of neurology ③京都 ④56.9.24

荒川規矩男(内科学第二)① Formation of a new kinin [des-Pro<sup>3</sup>]-bradykinin from human plasma protein ② 第8回国際高血圧学会 ③イタリア ④56.5.30~ 56.6.3

五十君裕玄(外科学第一)① Human Cholesterol (ChM) Gallstones Dissolve as fast in Simulated "Urso"-rich Bile as in "Cheno"-rich Bile 2 82nd American Gastroenterological Association ③アメリカ ④56.5.16 ~56.5.22

五十君裕玄(外科学第一)① Crystalline Cholesterol Monohydrate (ChM) Dissolves in "Urso"-rich Bile by both Liquid Crystalline and Micellar Mechanisms: A Phase Equilibria Explanation and Possible Clinical Relevance 2 82nd American Gastroenterological Association ③アメリカ ④56.5.16~56.5.22

五十君裕玄(外科学第一)① Symposium: Physicochemical Differences between Chenodeoxycholate and Ursodeoxycholate on the Gallstone Dissolution 2 4th International Conference on Surface and Colloid Science ③イスラエル ④56.7.5~56.7.10

高岸直人(整形外科学)① Treatment for the Cuff Rupture ② Encontro Nipo-Brasileiro de Ortopedia e Traumatologia ③ブラジル ④56.8.24

金岡 毅・松岡 功・清水 博・田口 星・白川光一(産 科婦人科学) ① Biochemical Fetal Monitoring ②第 8回アジア・オセアニア産婦人科学会 ③オーストラリ ア 456.10.29

# 18

# ミシガン州立大学

(解剖学教室)

### 喜 多

ミシガン州立大学はミシガン州 East Lansing にありま す。大学は広大な敷地のなかに、多数の研究棟、講義棟、 スタジアムや米国内・外からの留学生のためのアパート, その子供達の通う学校さらに発電所・映画館などを含み一 つの町を形づくっています。建物と建物の間には緑の芝生 と木々が植えられ広々とした感じがします。こちらへ着い た当座は、福岡の道路ぎわまでせまった家並をなつかしく 感じましたが、今はこのゆったりとした感覚をたのしんで ます。

さて私の所属している解剖学教室は, 主として哺乳動物 中枢神経系における神経細胞の構造と機能を電顕および電 気生理学的手法を用いて追求しています。私の仕事は,ラッ ト脳の cell-to-cell connection とその伝達物質を固定する ことです。ラット断頭後,脳を取り出し尾状核を摘出し,  $350 \sim 450 \, \mu \, \text{m}$  の厚さの切片を作ります。その後、切片を chamber にのせ微小ガラス電極で神経細胞を探し、電気 刺激や薬物などによる神経細胞の細胞内電位の変化をみて います。切片法で脳神経細胞についての電気生理学的研究 報告があまりないので, 非常にやりがいのある仕事だと 思っています。

また週に一度、解剖・生理・薬理学教室の合同セミナー があり、主に中枢神経系の研究報告がなされます。電顕の みならず薬理学・生理学も含まれるので大変いい勉強にな ります。

とにかくこちらの生活を満喫しようと毎日はりきってい ます。

皆様の御健康と発展をお祈りしてます。

連絡先:Department of Anatomy West Fee Hall Rm, 517 Michigan State University East Lansing, MI, 48824, U.S.A.

## ミシガン州立大学 (薬理学教室)

### Ш 勝 $\pm$ 田



Life Science Building (1,2 階、内科系研究室、3,4 階、 薬理学研究室)

昨年8月より Michigan 州 East Lansing にある Michigan State University の薬理学教室で研究しており ます。ここ East Lansing は Michigan 州都, Lansing の 隣りに位置し、森と湖の多い静かな大学街です。車で Detroit まで1時間半、Chicago まで5時間の距離にありま

この大学は1855年に米国でも一番古い農業大学として創 設され, 現在は16の college から成り立ち, 4,300人の学 生が学んでいます。大学構内は日本で考えられない程広く, 縦9km,横4kmの長方形で,職員および学生25,000人が構 内のアパートや寮で生活しております。また日本人も多く、 職員として40人、一般学生として81人、その家族まで含め るとかなりの数になり、日本人会があります。この大学に

は世界99ヶ国から1,454人の留学生が来て、国際色豊かで あります。多い順にいくつか国を掲げますと、イラン(155 人), 中国(144人), サウジアラビア(94人), マレーシア(88 人), そして日本(81人)ということになります。

さて薬理学教室は Chairman が Brody 教授で, 古川教 授も以前米国でいっしょに研究をされた先生ですが, その もとに100人近くの人々が研究に従事しております。私は Moore 教授の研究室で視床下部——下垂体系,内分沁ホ ルモンの prolactin や α-melanotropin と中枢神経活動と の関連について radioisotope を用いて生化学実験を行っ ております。この教室での研究時間は朝8時より夕方5時 まで9時間ですが、日本でいう昼休みとか、コーヒーを飲 みながらおしゃべりという事は全くなく, 仕事の密度から すると比較にならない程高いという気がします。6時まで にほとんど帰ってしまいますが、life Sciences Building の1階にある医学部学生用の部屋には曜日に関係なく夜遅 くまで自習している姿が見受けられます。また図書館は夜 の11時まで利用出来ます。

この Michigan でも日本製品は自動車,テレビからみそ, しょうゆ, ラーメンまであり, 祖国日本の実力や良さがよ くわかりますが、 今は福岡大薬理で学んだ Japanese English (日本語なまりの発音しか出来ない)を活用して米 国での良さを見つけ出し,こちらでの生活を楽しんでいる 毎日です。しかし外気温-10℃~-20℃の冬をいかに過ご すかが当面の問題であるようです。

最後に皆様方の御健康と発展をお祈りしつつ筆をおきま す。

連絡先: Department of Pharmacology and Toxicology, Michigan State University, East Lansing, Michigan 48824, U.S.A.

# テキサス大学

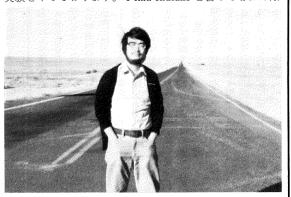
Human diabetes study center から

-0 0-

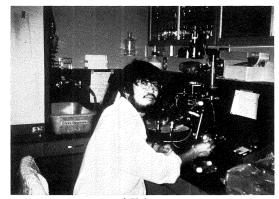
佐々木

Arizona 州の capital, Phoenix に来て約1年半が過ぎま した。日本では赤トンボが群をなして飛び、オミナエシの 花が恥しげに咲いている晩秋を想像しておりましたが, 既 に11月も中旬,ここ Phoenix は米国でも最も暖かい所で, つい先月まではアパートのプールで泳いでいる人を見かけ ました。人口70~80万、サボテンの山と砂漠に囲まれた美 しい州都で、冬の間は米北部より太陽を求める多くの人達 がやって来て,人口は更に増加,ホテルの料金も夏と冬と は大層異なるとききます。 Phoenix を少し出ますと山あ り湖あり, 多くの Indian Ruins に加え, National monument Parks があって,去年 Dallas から来た友人が大変 うらやましがっておりました。

私はこの地にある Univ. of Texas の Human Diabetes Study Center, Roger H.Unger 教授のもとで Pima Indians を対象にした Clinical Research と Basic な culture 実験をやっております。 Pima Indians と言っても御存知



Thanks GivingのHolidayにArizonaの北部をドライブしました。 どこまでも続く一直線の道路にアメリカの広さを感じます。



実験室にて

ない方も多いと思いますが, Obesity と Type Ⅱ Diabetes の発症頻度が著明に高い特殊な population で、米国では 肥満に関する研究が内分沁・代謝学の大きな topics とな り、世界中の肥満研究者が Pimas に注目しております。 Indian Medical Center と共に NIH の疫学グループと National Institute of Arthritis, Diabetes and Digestive Disease section (NIADD) の Branch, 及び私の所属する Texas 大学 group が中心になって Research Section をつ くっており,全ての M.D., Ph.D. は何らかのかたちで Pima Indians の病態生理に関する研究に従事しています。 M.D. より Ph.D. の方が多い研究機関ですが、何の Projects を始めるにしても、他の大学よりその道の authority をよんできて徹底的に discussion をやり, 多くの Ph. D. が積極的に Clinical の仕事にも発言するのにはびっくり しました。私の Floore には日本からの留学者が私の他の 2人おり、皆限られた期間故か土、日もなく仕事をし、勉 強しているのにもびっくりしました(但し、土、日にも出 てきているのは日本人だけですが)。米国に来て、日本と いう小さな国が、自動車産業のみならず色々な点で注目さ れている事を肌で感じますが, 医学研究に関しては, まだ まだアメリカの底力を感じている今日この頃です。

研究室の窓からぼんやりと夕暮れの外を眺めていると, 南西部特有の樹木が見え, 夕焼がとてもきれいです。本当 に愛するすべての人達にこの風景を見せてあげたい気がい たします。研究の方は、言葉の問題も含めて、なかなか思 う様な Data も出ませんが、ここで得た最大の収穫は何も のにも変えがたい無形の体験であると,この留学の機会を 与えて下さった奥村教授をはじめ福大の先生方に感謝して おります。とにかく現在は残された滞米生活をより意義あ るものにという心境です。

最後に医学会会員の皆様の御健康と御活躍をお祈りし筆 をおきます。

1981年11月16日

連絡先:Human Diabetes Study Center,

Univ. of Texas Southwestern Medical School c/o Phoenix Clinical Research Section,

NIH. 4212 N.16th Street

Phoenix, AZ 85016, U.S.A.

### ミュンスター大学より (第二信) 浩 田 降



病棟の医員室にて同僚のシュリューター (Schlüter) と

8ヶ月たちましたが、ドイツ語を話し、聞くことは予想 以上に難しいことでした。私に面と向って話された言葉の みは、1%の語学力と99%の霊感でどうにか察知していま すが,それ以外は耳元の雑音に過ぎません。

こちらの人は小話 (Witz) が好きで、誰かが新しいのを 披露しては,皆ドッと沸くので,私もつられて笑うと「判っ た?」「イーエ」「実はね…」とゆっくり平たく話してくれて, 今度は本当に笑うことが出来ます。「Dr. Kida は2度笑 う」と言われる所以です。しかし毎日のように手術につき, それも6時間や8時間と言うのはザラですから、けっこう 日が過ぎます。先日は12時間かかったのがありました。亀 背と言って背中が丸まってしまった患者を, 前と後の両側 から開けて矯正する大手術です。皆、流石に疲れて術者は 看護婦さんに器械を求めると覚しき手をもうろうと差し出 します。「何が要るんですか?」「……」(ただ指をムニャ ムニャ)「それでは判りません!」すると助手の1人が「も う何でもいいから持たせてやんなさい!」そんなやりとり もありましたが, 出来栄えは上々でした。

こちらは折々の宴会事などは一切ない代わり、個人的な パーティーは良くやっているようです。私共夫婦も,これ まで7,8回ゲストとして招かれましたが、ホストとの間 に死にたいほどの沈黙こそあれ、喋々と交わされる会話な どはもちろんなく、こればかりは剣呑です。

ドイツ人は一体にきちんとしていて物静かです。私はま だ走るドイツ人を見た事がありません。反面、恰好をつけ ているようにも見えます。人間らしさをむき出しにする日 本人とどちらが良いかは賛否の分かれるところでしょう。

ところで先日,日本の自動車を作るロボットがテレビで 紹介されていましたが, 一等工業国を自負する彼らはどん な思いでそれを見た事でしょう。

ドイツのコンピューターの8割を日本製が占めて,彼ら も遂に事態の容易ならざるを悟ったと聞きます。しかし, 日本がここで手をゆるめたり大きな顔をしょうと言うのな らそれはとんでもない誤りでしょう。彼らの生活環境, 7,000kmに及ぶ Autobahn, どこをとっても絵になる街並, それと忘れてならないのは今, 世界を主導する白人同志の 連帯感で、こうしたものに伍するに、日本はこのまま発展 しても100年はかかろうと私は思います。いずれ必ずつく であろう白人の"イチャモン"をどうでも切り抜けて、大 きくなって欲しいと祖国への想いを新たにしつつ本日はこ れにて失礼致します。

皆様方の益々の御発展を御祈りします。

敬具

連絡先:Orthopädische Univ-Klinik Hüfferstr. 27

4400 Münster

Germany

チューリッヒ大学



チューリッヒ湖

アルプスで皆様お馴染みのスイスに1年と3ヶ月程生活 してきました。といっても、私の居るチューリッヒは、銀 行と工業の都市で観光といえば歴史博物館、教会そして高 級商店街だけしかありません。

何といっても, この国の産業は観光で, 旅行客への配慮 を国あげて行っているようです。たとえば、普段住民は自 主的に電気, 水などエネルギーを節約して使用するように 心掛けねばならないのに、商店では、ウィンドゥショッピ ングができるように店の開いていない夜は, 惜しみなく店 内を明々とたくさんの電燈で照らしていますし, また, 清 掃人も多く、マナーの悪い人の多い道路,歩道もいつもき れいにしています。私のいる法医学研究所でも, 節電を厳 守せねばなりませんし, 研究室の美化にも気を配っていな ければなりません。

昭和57年2月1日

このように観光に力が入れられている御陰か, この研究 室にもかなりの予算があり高価な化学分析機器も少人数に は十分すぎるくらい購入されて美しく研究所を飾っている ようです。私はここでその高価な機器の種類であるガスク ロマトグラフ質量分析装置 (GC/MS, ここには3台ありま す)を使って,薬毒物の鑑定,およびこの種の最新モード である Negative-CI の勉強を行っています。フランス, アメリカでは、高価な GC/MS をできるだけ有効に使用 できるよう Negative-CI などの開発が進んできているの に、エレクトロニクスの方で世界に定評のある日本がこの 方面でかなり遅れてしまっていることに, 私も日本人とし て残念に思っています。

今日、チューリッヒ市内では、初めての雪が降っていま す。私のシェフも、私にこの冬こそは、スキーに挑戦して みないか, もちろん滑走は危いから安全で健康に良いクロ スカントリーの方が良いと言ってくれますので、寒さの嫌 いな私も今度は, 親善のためにスキー具でも買って行こう かと考えています。

最後に皆様方の益々の御発展をお祈りしつつ筆を置きま す。

連絡先:Gerichtlich-Medizinisches Institute der Universität Zürich Postfach, 8028 Zürich Switzerland

### カリフォルニア大学 村 松 和 彦



カリフォルニアバークレーにあるカルフォルニア 大学の本校正門近辺

カルフォルニア大学の多数の分校のうちサンフランシス コ分校に来て5ヶ月になります。サンフランシスコはアメ リカ国内でも日本人観光客やビジネスマンの多い所だろう と思います。日本人学校には600人もの生徒がおり、いた るところで日本人に出合います。トヨタ・日産・ホンダな どがわがもの顔で走っており、商工会議所の幹部がこちら に会議に来て、米国はもっとしっかり商売して下さい、な どとこごとを言うありさまです。

しかし一旦大学に入って病院の様子,研究施設等をみる と、日本のいかにアンバランスかをつくづく感じます。

小児科だけで professor が33人, clinical professor が 15人いて、どのような小さな部門のカンファランスでも2 ~3人の professor が出席していて、お通夜みたいなカン ファランスは絶無です。小児科だけで年間発表原著,単行 本(含分担執筆)は200編を超えています。

未熟児新生児施設について言えば, intensive care nursery (ICN) のベッドが27あり、これが high intensive care 6, low intensive 6, intermediate 7, recovery 8, とわ けられていて high intensive の場合は昼夜とも患者1人 に看護婦1人がつくという手厚さ。医師は ICN を8名で

この人的資源の豊かさにはとうていたちうちできないな と感じるこのごろです。

1981年12月

連絡先:1270-7 th ave. #1. San Francisco, CA. 94122 U.S.A.

α-MSH による行動変化と中枢 ミシガン州立大学薬理学教室②

9 · 14 } 56 · 9 · 27

②第8回国際農村医学会議③56・

パミン神経系との関連③56・

畝

博 (公衆衛生学) ①エジ

山田勝士(薬理学) ①アメリカ、

①研修先②目的③期間

海外留学

リカ、シンシナティ大学内科

朔啓二郎 (内科学第二) ①アメ

ト②第20回国際労働衛生学会③

Lipid Clinic. ②腎内リポ蛋白代

第10回熱帯医学セミナー③56・

村松和彦 (小児科学) ①アメリ

②国際法医学会③56・6・

学部又は病院を訪れた外国学者は

昭和五十六年四月以降、本学医

つぎのとおり①所属②目的③来訪

取得

海外出張

②本学医学会主催講演会にて講演

56 4 15

「自動化された新生児の聴覚障害

|フォード大学耳鼻咽喉科主任教授||び精神療法過程の日米比較、③||Professor of General Surgery ②

の討議 ″精神医学的診断基準およ | National

University

Assistant

国際交流委員

· 有吉

ギー②第15回国際放射線学会③

八尾恒良(内科学第一)①ベル

タリア②第八回国際高血圧学会③|発見手段、クリブオグラム|③56・|

|ンガー財団理事長②福岡精神科集

討論③56・7・26~56・7・29 問、ならびに胆汁酸研究に関する 外科学第一志村秀彦教授を表敬訪

医学部各種委員・世話人

今永・江崎・西園

医進課程委員

徐荫祥 (北京耳鼻咽喉科研究所

Dr. & Mrs. Menninger

談会にて講演「アメリカ精神医学

田川隆輔(解剖学第一)①ブラ

リシア②第八回国際腎臓学会③

学医学部生理化学教授②生化学第

Gerber, G.

①フンボルト大

|最近の傾向とその力動精神療法へ||所長)、李新吾 (同、副所長)、起

一にて講演「運動時のエネルギー

# 新 紹

福大医学会会員が執筆した著書または単行本を以下紹介 (①書名②発行所③発行年④価格)

▷池原征夫(生化学第二)① Glycoconjugates(分担)② Scientific Society Press Tokyo ③56. ④不明

(生化学第二) ① The Red Cell: Fifth Ann Conference (分担) ② Alan R. Liss, Inc.,

▶古川達雄(薬理学)①生化学的観点からみた薬理学(分担)

(薬理学) ①抗不安薬, 抗うつ薬の進歩

②東京大学出版会 ▷広木忠行(内科学第二)①今日の治療指針(分担)②医

④11,000円 ▷広木忠行(内科学第二)①心臓病学(分担)②金芳堂

▶西園昌久(精神医学)①精神分析· ―自らの人間性の理

②旺文社 ③56. ④不明 (脳神経外科学) ①CT像のチェックポイント Q & A (分担) ②日本メルク萬有株式会社 ③56.10.30 ④非壳品

▷松崎昭夫(整形外科学)①災害外科アニマル(分担)② 医歯薬出版社 ③56. ④12,000円

▷松崎昭夫(整形外科学)①整形外科 MOOK, No. 19. 末 (分担) ②金原出版 ③56. ④4,800円

▷宮崎良春・山口秋人(沁尿器科学)① Diagnostic Ultrasound in Urology and Nephrology (分担) ②Igaku-③ 56. 7,500円

毅(産科婦人科学)①国試からみた産婦人科学, 出題の分析と対策(分担)②中外医学社 5,800円

▷井上幹夫(健康管理学)①薬剤講座第4巻 消化器疾患 (分担) ②クリニックマガジン社

▷守田則一・柚木一雄(健康管理学)①制癌剤とコエンザ イム Q<sup>10</sup> (分担) ②医歯薬出版 ③56.8.20 ④5,800円 ー・蔵本裕一・井上幹夫(健康管理学)①消化器 と免疫 No.7 潰瘍性大腸炎患者の血中補体の動態(分担)

▷塩飽徳行・守田則一(健康管理学)①消化器と免疫 No.7 潰瘍性大腸炎の免疫遺伝学的検討 (分担) ②医歯薬 356.8.10

②医歯薬出版 ③56.8.10 ④4,500円

向って発展する力とが、 うまく 増えること、責任が生じることな 展に医学会ニュースが、いくらか

なること、自分で判断することが

御協力に感謝致します。本会の発

ものでは発展は望めません。内面| 卒業して社会に出ますと、多忙に|よび教育技術職員の郡山優子嬢の

の充実へ向けられた力と、外へ

新しい先生方もおられます。

ら、多少無理にも御便りをお願い|も交代致しましたが、前幹事の坂

クトをとりなが

なお最後に、今回から編集幹事

することになってしまいました。 | 本教授の種々のアレンジメントお

一つの人間集団は、閉鎖された

からみあってこそエネルギーが発| ど、医学部学生時代とは異った条| でも役立てばと願っております

件におかれますし、また本学を離|が、本ニュースについて今後とも

た独特の環境に属|種々の御意見か御希望をお寄せ下

ます。それだけに、|さいますようお願い致します。

異っ

た福大医学部への

このように福大医学部にとって

の貴重な体験をしておられる先生

黒田(吉)·黒田(健) 年に達しました。その間大学院博 動が盛んになってまいりました 年々増加し、本年度は初の課程終 ことになります。このように本医 士課程も増設されて大学院学生も た。これによって博士論文の審査 か可能になりますので、大学院終 」でない論文博士も生まれてくる - 博士が生まれることになりまし

姿やお声を懐しむとともに、もう

|みたいと努力し

)ました。多くの|

することになり、また発刊が遅れ

|らのニュースをできるだけ盛り込| て木船会計幹事に御迷惑をおかけ |に従事しておられる卒業生諸君か|に、医学会ニュースが六頁となっ

の医学部の何処かでお会いしたお

お会いできない悲しみを感じてお 方々に書状で御連絡致しました ましたことをおわび申し上げま

|が、なかなか御投稿を頂けず、後|

ります。他方、本会に御参加下さっ

今後の発展に力となって頂く| は個々にコンタ

編集後記

のでいつのまにか十 力を積み重ねてまい が開設されてから、 福岡大学に医学部 がけない御物故の方々があり、こ して来られた職員の中にも、思い

当りますので、昨秋、引続き医学 しかし長年医学部の発展につく

|部長ならびに病院長になられた西| エネルギーとして注ぎ込まれてゆ | 会への良い刺激になればと願うも は、一つの区切りのような時期に| うな御体験が御 園・朝長両教授に一面の記事をお くことを期待す からの本医学部の発展への新しい| 輩諸君からの多くの御便りが、本 は、本学卒業後学外で診療や研究|に厚く御礼申し上げますととも このような意 帰国後、広い視野|見方もあるでしょう。これらの先 |味でさらに今回| 御便りをお寄せ下さった先輩諸氏 るものでありま のであります。多忙な日々を送っ ておられるにもかかわらず、今回

昭和57年2月1日 川望 (麻酔学) 州大学に提出、昭和五十六年 学位

側亜核の侵害受容ニューロン」 loscopic diagnosis for stomach 月二十五日付で医学博士授与。 学位論文「三叉神経脊髄路核尾」 学位論文 "A new trial in en-九州大学に提出、昭和五十六年| ジル® S.I.C.O.T. XV world congress  $36 \cdot 8 \cdot 24 \sim 56$ 

主催による海外医学教育事情調査

と特性」③56・7・30

Maehly, A.

①スウェーデン

ス・フランス②医学教育振興財団

西園昌久(精神医学)①イギリ

|薬理部門主任②薬理学教室にて講

神医学研究所臨床科学研究室組織

演「脳内神経ペプタイドの局在性

リア②国際化学療法学会③56・

滝井昌英 (内科学第二) ①イタ

代謝調節] ③5・6・9

Jacobowitz, D.M.

①米国精

講演「精神医療の戦略」③5・10・2

Yong-Hyun Park

⊖ Seoul

大学教授②福岡精神科集談会にて Dr. & Mrs. Marmor

(1) 南加州

学 3 56 · 10 · 22

(同、主任医師) ②病院内見

朝長・(教学協議員)荒川・

(学部長) 西園・(病院長)

曽田・(教務委員) 菊池・(前

教務委員)松岡・(学生部委

主催講演会にて講演「法科学的薬 国立法科学研究所所長、②研究所

学又は海外出張者はつぎのとおり 昭和五十六年四月以降の海外留 ダ②ガン抗原に関する研究成果の 究③56・6・2~56・8・31 学会議および腎性骨異栄養症会議 シア・イタリア②第8回国際腎臓 発表③56・9・26~56・10・4 理システム・基礎医学の教育、研 竹林茂夫 (病理学第二) ①ギリ 松岡雄二 (生化学第一) ①カナ

細菌学研究現状の視察と研究の交 流③56・5・14~56・5・20 江崎廣次(衛生学)①フランス 天児和暢 (微生物学) ①中国② 線会議、ハイデルベルヒ大学放射 高良由貴夫 (精神医学) ①フィン 56 6 21 56 7 線科、ドイツ癌中央研究所視察③ 神分析学会③56・7・16~56・ ランド・イギリス②第32回国際精|毒物分析の現状について」③56・ ギー・西ドイツ②第15回国際放射| 高岸直人、南川博道(整形外科 小野庸 (放射線科学) ①ベル 西園昌久、安岡營、堀田博明、

講演「体液と交感神経」③56・5・ タ大学内科教授②内科学第二にて

> た。医学部関係の役職員および各 十一月十五日午後一時から行っ

など役職員の改選を昭和五十六年

本学は、任期満了に伴う学部長|

医学部病院発展計画検討委員会

西園・朝長・重松

わ

る

留) 檀・(特研) 犬塚・(三)

竹林・大島・八尾・(卒業保

年科目担当) 河田・田川

種委員、世話人は左記のとおり。

大学院学務委員 大学院委員

大学関係役職員・委員

電子計算センター委員

病院長

Tobian, L. ①アメリカミネン

56 8 19 7 56 9 学) ①ブラジル・アルゼンチン② ア②第11回国際臨床化学会③56・ 日伯·日亜合同整形外科学会③ 黒田吉男(病院)①オーストリ 用」③56・7・8 遮断剤の内因性交感神経刺激作 ||科教授②内科学第二にて講演「β 22 科学第二にて講演「キニンと細胞 カジョージア大学薬理学教授②内 アルバートアインスタイン大学内 Frishman, W.H. ①アメリカ Greenbaum, L.M. ヨアメリ

内酵素 36・7・17 高血圧研究所長②内科学第二にて Ganten, D. ①西ドイツ国立 評議員

56 7 • |講演「脳レニン、その真偽性」③ ①UCLA医

学部教授②現在進行中の共同研究

図書委員 教務委員

学生部委員 教育職員資格審查委員 教学協議員 今永 菊池 三好

医学部長 運営協議員 看護専門学校長 副病院長 荒川・曽田 奥村・曽田 小田禎一 奥村 恂 西園昌久 公害防止及び廃棄物処理委員

医学部RI施設運営小委員 アニマルセンター委員 RIセンター委員 守田・黒田 利谷・松岡・浅野 松岡・浅尾 吉

池原・小野・古川

助教授・講師選考委員 資格審査委員) 竹林・檀

島·中根·川浪·荒川·池科目) 奥村·星野·浅野·北 菊池・ (総合試験世話人・六 (学部長)西園・(教務委員) 田・竹林・有吉・為末・八尾菊池・浅尾・今永・奥村・小

礎・臨床)松岡・犬塚・檀 川・池原・永田・田川 曽田・(教務委員) 菊池・(図 朝長・(教学協議員)荒川・ 書委員)三好・(大学院学務 話人)今永・天児・竹林・古 委員)重松・(総合研究室世 (学部長) 西園・(病院長) 基

カリキュラム検討委員 竹林・ (六年) 大島・八尾・ 古川・有吉・(五年)利谷・ (一年) 江崎・(二年) 高岸・ (三年) 坂本 (公)· (四年)

57年1月5

3 月 12 2 月 17 2 月 15

日

卒業式

クラス担任 総合研究施設 センター) 田川 会医学系)永田・(フォート 竹林・(病態機能系)古川・ 生物系) 天児・(病態構造系) (病態生化学系)池原・ (社 (人間生物系) 今永・ (感染

9月26~27日 第72回医師国家試験 (三四名

第6回例会

8 月 3

Ĕ 日

福岡大学医学会評議員会 福岡大学医学会幹事会 6月 6 月 3

13~14日 医学部一年次生フレッシュマ

ンキャンプ

· 日 福岡大学医学会評議員会

福岡大学創立記念日 医学部新入生歓迎会 エンテーションキャンプ

8 月 4

· 日 福岡大学医学会第4回総会および

11 月 25 日  $\Box$ 

ショップ

第五回医学教育のためのワーク

第八回医学部慰霊祭

1日 昭和57年度大学院医学研究科入学1日 福岡大学医学会第7回例会 日~19日 昭和57年度入学試験 日 新年賀詞交歓会 医学部父兄後援会

井・志村・為末・山本・有田・広木・吉田・内藤・瀧 科目) (整形) 高岸・(放射線) 留・白川・金岡・熊本・江福島・浅尾・松崎・小田・満 崎・畝・重松・和気・(選定 馬・犬塚・荒木・檀・田中・

研究所小委員 (基礎・臨床各三名) 重松・

名合格)

田川・田口・坂本(公)・田

4月11~12日 医学部三年次生専門課程オリ 4月6日 入学式(医学部新入生一〇六名)

坂本 (康)・松崎・吉田・ (病 (基礎・臨床各二名) 影浦・

5 月 7

5 月 21 日

重松・(図書委員) 三好・(各 員) 今永・(大学院学務委員)

学年担任)江崎・高岸・坂本

(公)·古川·有吉·利谷·

院)牛島

図書館分館小委員

56年4月

昭和56年度の福岡大学医学部

4日~5日 第71回医師国家試験(六九 和56年度の主な行事